

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F126310107653	設置等組織名	生態食農学部
大学名	明治国際医療大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	京都	事業計画名	明治国際医療大学生態食農学部設置計画

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画		取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ 1	1-① 令和6年8月～	新学部構想におけるアンケート調査等を開始	1-① 令和6年8月～	新学部構想におけるアンケート調査等を開始	R6年度自己評価 【3】計画を十分に実施している。
	1-② 令和6年8月～	事務職員の採用	1-② 令和6年8月～	事務職員の採用	
	1-③ 令和6年8月～	校舎建築のための事前調査	1-③ 令和6年9月～	校舎建築のための事前調査	
フェーズ 2 前倒し	1-④ 令和6年8月～	附属農場確保のための協議	1-④ 令和6年11月～	附属農場確保のための協議	○年度自己評価 リストから選択してください。
	1-⑤ 令和6年8月～	他大学や企業等との連携のための具体的内容の協議	1-⑤ 令和6年8月～	他大学や企業等との連携のための具体的内容の協議	
	1-⑥ 令和6年8月～	海外の有機農業の大学への視察（ドイツ）	1-⑥ 令和6年11月	海外の有機農業の大学への視察（ドイツ）	
	1-⑦ 令和6年8月～	国内の有機関連施設への視察	1-⑦ 令和6年8月～	国内の有機関連施設への視察	
	1-⑧ 令和6年8月～	有機農業関連事業者との連携協議	1-⑧ 令和6年8月～	有機農業関連事業者との連携協議	
	1-⑨ 令和6年8月～	農業法人設立に係る協議	1-⑨ 令和6年9月～	農業法人設立に係る協議	
	1-⑩ 令和7年4月～	新学部に係る認可申請資料準備を開始			
	1-⑪ 令和7年8月～	海外の有機農業の大学への視察（アメリカ）			
認可申請又は届出	2-① 令和7年4月～	校舎建築のための基本設計を実施し、その後実施設計を開始			○年度自己評価 リストから選択してください。
フェーズ 1 後倒し					○年度自己評価 リストから選択してください。
					○年度自己評価 リストから選択してください。
フェーズ 2	2-② 令和8年4月～	新学部設置のための新校舎建設			○年度自己評価 リストから選択してください。
	2-③ 令和8年4月～	新学部設置のための既設校舎改修			
	2-④ 令和8年4月～	新学部設置のための教育研究備品の購入			
開設又は定員増	令和9年4月	生態食農学部 開設予定(入学定員100名、農学関係)			
フェーズ 2 後倒し					○年度自己評価 リストから選択してください。
					○年度自己評価 リストから選択してください。
					○年度自己評価 リストから選択してください。
フェーズ 3	3-① 令和9年4月～	事務職員の採用			○年度自己評価 リストから選択してください。
	3-② 令和9年4月～	情報発信及び広報活動の推進			
	3-③ 令和9年4月～	学部事業の運営			
	3-④ 令和9年4月～	有機農業者等の実務経験がある講師の招聘			
	3-⑤ 令和9年4月～	地元自治体の職員による「地域農業の課題と対策（仮）」の授業の開講			
	3-⑥ 令和9年4月～	シンポジウム等の開催			
定員減又は学部等の廃止	3-⑦ 令和9年4月～	他大学や連携企業等との会議の実施			○年度自己評価 リストから選択してください。
	3-⑧ 令和10年3月～	開設後における取組計画の点検評価の実施			
	令和7年3月	看護学部看護学科30名減員に係る届出予定（入学定員50名、編入学定員10名、保健衛生学(看護学関係)）			
	令和7年3月	保健医療学部救命救急学科20名減員に係る届出予定（入学定員60名、保健衛生学(看護学関係を除く。））			
	令和7年3月	保健医療学部柔道整復学科10名減員に係る届出予定（入学定員40名、保健衛生学(看護学関係を除く。））			
	令和8年4月	看護学部看護学科30名減員予定（入学定員50名、編入学定員10名、保健衛生学(看護学関係)）			
	令和8年4月	保健医療学部救命救急学科20名減員予定（入学定員60名、保健衛生学(看護学関係を除く。））			
	令和8年4月	保健医療学部柔道整復学科10名減員予定（入学定員40名、保健衛生学(看護学関係を除く。））			

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	明治国際医療大学
-------------	-------	-----	----------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table><tr><td>確認を受けている</td><td>☒ チェック</td></tr><tr><td>確認の対象に該当しない</td><td>☐ チェック</td></tr></table>	確認を受けている	☒ チェック	確認の対象に該当しない	☐ チェック	
確認を受けている	☒ チェック					
確認の対象に該当しない	☐ チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック					
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。					
	<table><tr><td>計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	☒ チェック			
計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	☒ チェック					
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。					
	<table><tr><td>認定を受けておらず申請する意向もない</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック			
認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	明治国際医療大学
-------------	-------	-----	----------

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

- 【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（関係開設科目等に限らない）
- ☒ チェック

a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ☒ チェック

b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☐ チェック

c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
所在地周辺の有機農業者、有機専門生産協および流通業者、有機食品加工業者などから 専門家を講師として招いて、実習授業や実務に直結する授業を実施する。 また、地元自治体である南丹市と連携して、有機農業を主要な軸とした耕作放棄地対策および新規就農者育成に向けた多様なプログラムを展開する。 さらに、既に農学系学部を先行的に設置している 京都先端科学大学バイオ環境学部、龍谷大学農学部、摂南大学農学部、京都光華女子大学健康科学部などと連携 して、PBL型の授業科目を共有して開講し、 本新学部としては有機農業や有機食品に特化した教育を担う かたちで、未来のよりよい食農システム構築に向けた社会づくりに貢献する計画である。また、 有機農業への科学的アプローチの確立のため、京都大学大学院農学研究科と連携 する。	南丹市、亀岡市、京丹波町とすでに連携協定を締結しており、カリキュラムのなかに自主的な地域課題探索とグループによる課題解決をめざすプロジェクト演習を組み込むことにより、自治体と連携した教育体制を計画している。また、長期休暇を利用したインターン実習もカリキュラムに組み込む計画であり、有機食品流通分野においては、3市町内や京都市内に位置する関西よつ葉連絡会、コープ自然派京都、（株）坂ノ途中、食品加工分野としては3市町内に工場のある石井食品とすでに接触があり、新学部学生との交流が期待されている。 京都府農業大学校とは授業の乗り入れや研修先としてすでに事前協議を終了している。食品分野においては、京都市内にある京都光華女子大学と食コーディネート関連での連携協議を進めている。当該大学が2026年度から共学化することにより連携もより容易になる。採用予定教員のつながりから、京都大学、国立台湾大学、ドイツのカッセル大学有機農業学部との研究連携および学生交流の可能性が生まれている。	

- 【B：多様な入学者の確保に向けた取組】
- ☐ チェック

a.入学者選抜における科目の見直し
- ☐ チェック

b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ☒ チェック

c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☒ チェック

d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- ☐ チェック

e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
関西一円の農業系高校で説明会を実施するとともに、普通高校も含めた周辺の高校において、 SDGs時代の未来の食農システムに関する出張授業を継続的に実施 する。オープンキャンパス時には、実習農業の見学も積極的に取り入れて、受験生の関心の向上を促す。 社会人についても、有機農業や有機食品加工に関心のある層が一定規模で存在すると考えられることから、 学士入学や研究生受入れができるような教育体制の整備 を行い、有機農業と有機農産物を中心とした農業者の育成や各地の地域農業振興の支援につなげていく計画である。	国内では初めての有機農業に特化した農学部であることから、近隣地域の農業高校や普通高校だけでなく、全国の高校にむけて出前授業の提案をSNSで発信中である。その皮切りとして首都圏の普通高校（新渡戸文化高等学校）で2025年5月に出張授業が予定されており、他には愛媛県の高校（愛媛大学附属高校）とも実施に向けて協議中である。農業高校関連では、7月に福岡県の農業高校の研修会で講演予定があるが、その他の農業高校についても本格的にアプローチする予定となっている。 社会人の受入れは必須の案件であるが、学士入学を想定すると開設2年後からの取組になるので、それを想定したカリキュラム設定を検討中である。	

大学名	明治国際医療大学
-----	----------

1.本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

[illegible]

大学名	明治国際医療大学
-----	----------

本事業対象となる学部等の個数	1
----------------	---

1.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	生態食農学部

[illegible]

大学名	明治国際医療大学
-----	----------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	250	250																	
		入学者数	人	214	190																	
	その他の学期	入学定員	人	***	***																	
		入学者数	人	***	***																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	250	250																	
		入学者数(B)	人	214	190																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.86	0.76																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	1010	1010																	
		編入学定員	人	5	5																	
		在籍者数(D)	人	888	852																	
		編入学者数	人	5	3																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.88	0.84																	

4.外部資金の状況（全学）

年度		30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況		選定－5年	選定－4年	選定－3年	選定－2年	選定－1年	選定													
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	42,065	35,863	32,667	26,033	26,271	29,512													

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	31,600
本事業による助成金の額(F)	千円	1,007,500
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	56,788

特記事項